

地域医療連携だより

Vol.226

R4.4

長浜赤十字病院 地域医療連携課
〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7
TEL0749-68-3314
FAX0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター
地域周産期母子医療センター
地域災害医療センター
滋賀県地域がん診療連携支援病院
基幹原子力災害拠点病院



陽春の候、貴院におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ドクターカーの運行を開始しました



2022年4月より、ドクターカーの運行を開始しました。滋賀県では京滋ドクターヘリが運航されていますが、その自動車版と考えると分かりやすいと思います。ドクターヘリは長距離を短時間で搬送できる大きなメリットがありますが、逆に市街地では着陸などが難しくいわゆる「旧長浜市内」では活用が難しかったり、日没後や悪天候の場合には飛行できないといった難点もありました。自動車の場合はそのような制限なく出動できます。

消防機関より要請があれば、概ね3分以内に緊急車両で出動し、消防の救急車と合流します。医師、看護師を現場投入することで早期医療介入することが最大の目的です。現場で直ちに医療活動を開始し、救急車に同乗して治療を継続しながら病院へ搬送します。

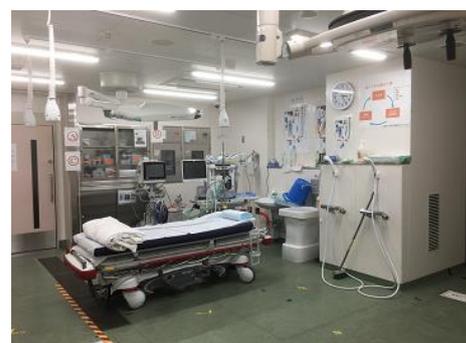
早期医療介入の意義は治療の開始が早まることに加え、病院到着前の段階から救命救急センターに指示を出し病院での高度治療の開始を格段に早めることができる点にあります。例えば、外傷によるショックの患者の場合、携帯型超音波装置で腹腔内出血等を現場で診断し、その情報をもとに輸血や外科医の参集、緊急開腹準備等を現場から救命救急センターに指示します。致命的な状況であれば、初療室搬入直後に開腹止血術等を開始することも可能です。来院後に診断、医師呼び出し、手術準備を行う場合と比べ根本的治療まで時間が大幅に短縮されます。結果的に救命率の向上や予後改善に大きな効果が期待できます。

運行時間は平日の8:30~17:00で、運行範囲は湖北地域消防本部管内全域です。ドクターカーには救急医と救命救急センター看護師が搭乗します。現場での医療内容は静脈路確保、超音波診断、気管挿管、胸腔ドレナージ、痙攣重責に対する抗痙攣薬の投与、応急的な止血処置などが主となります。かかりつけ病院や疾患の内容により、当院以外への搬送が有利と判断したもののについては、市立長浜病院や長浜市立湖北病院等適切な病院を選定し、ドクターカー医師より受け入れ要請をさせていただくことがあります。消防機関に対し開業医の先生方から病院への転院搬送を依頼されました際にも、消防において緊急度、重症度が特に高いと判断された場合はドクターカーが出動する場合があります。その際はご指導を賜りますと幸いに存じます。

2022年4月より当院では総合外傷センターを同時開設します。総合外傷センターの一部として特に外傷診療において重点的に出動しますが、ドクターヘリ要請基準に準じて内因性疾患についても出動いたします。湖北地域ではドクターカー、ドクターヘリの双方が運用されることとなります。それぞれの利点を補完しながら、湖北地域の救命救急医療の更なる発展に微力ながら尽力させていただく所存です。



第一整形外科部副部長
(兼)救急科部副部長
白川 努



(ドクターカーとして使用する車両)

(湖北地域消防本部との訓練の様子)

(初療室での手術も可能な高度除染室)

CT装置を更新しました

第二放射線技術課長
藤原 将洋



この度、約14年使用してきましたCT装置を更新し、キャノンメディカルシステムズ社製 Aquilion One NATURE Edition を導入しました。地域の先生方におかれましては、更新期間中は何かとご不便をお掛けしましたが、ご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

この装置の特長は、検出器320列、最大幅16cm（従来装置は検出器64列、4cm幅）の範囲を1回転（最速0.275秒）にて撮像ができることです。これにより心臓検査においては、1心拍で冠動脈の起始部から末梢までを撮像することが可能となります。また、乳幼児の頭部・胸部・腹部検査においても体動の少ない画像を提供できますし、大人の胸腹部位においても短い息止めで検査が可能です。

また、被ばく低減システムAIDR (Adaptive Iterative Dose Reduction) を搭載しており、より少ない被ばく線量で高画質な画像を提供することが可能です。さらに、人工知能 (AI) を活用した最新技術であるディープラーニング（深層学習）を用いた再構成技術AiCE (Advanced intelligent Clear-IQ Engine) とPIQE (Precise IQ Engine) (PIQEは関西地区で初導入) により、高いノイズ低減効果が得られ、高精細な画像が提供できます。そして、X線の線質を変えることのできるデュアルエナジーシステム (Spectral Imaging System) を用いて、従来、造影検査が十分できなかった腎機能の低下した患者様にも少量の造影剤で造影効果の高い画像が提供できます。

今後とも、先生方のご依頼に対応すべく、診断に有用な画像を提供して参りますので、CT検査のご依頼をお願い申し上げます。

第96回消化器カンファレンス開催のお知らせ



日時：4月14日(木) 18時30分～
(4月7日から変更になりました)

場所：2号館5階 大会議室南
ZOOMも開催致します。

※日本医師会生涯教育 1.5単位 CC:15
診断に苦慮した症例について検討します。
ぜひご参加ください。

ZOOMで参加いただける場合は地域医療連携課へお電話ください。
ミーティングIDとパスコードをお伝えします。(TEL 0749-68-3314)

～新任医師のお知らせ～

整形外科	青木 崇紘 (あおき たかひろ)
整形外科	桜井 準太 (さくらい じゅんた)
整形外科	長嶋 秀明 (ながしま ひであき)
脳神経外科	横井 俊浩 (よこい としひろ)
外科	徳田 彩 (とくだ あや)
内科	榎本 匡秀 (えのもと まさひで)
消化器内科	吉田 恵里奈 (よしだ えりな)
循環器内科	神元 宏侑 (かみもと ひろゆき)
糖尿病・内分泌内科	北川 奈津子 (きたがわ なつこ)
神経内科	高橋 俊哉 (たかはし としや)
産婦人科	山川 智理 (やまかわ ちさと)
産婦人科	松坂 直 (まつざか すなお)
小児科	大森 禎子 (おおもり まきこ)
小児科	栗名 都史絵 (くわな としえ)
小児科	多賀 崇 (たが たかし)
小児科	西倉 紀子 (にしくら のりこ)
小児科	松尾 理奈 (まつお りな)
歯科口腔外科	山田 理人 (やまだ まさと)
放射線科	日野 篤信 (ひの あつのぶ)
救急科	河野 久美子 (こうの くみこ)
研修医	川部 愛実 (かわべ まなみ)
研修医	田中 元貴 (たなか もとぎ)
研修医	樋口 美帆子 (ひぐち みほこ)
研修医	藤森 栞 (ふじもり しおり)
研修医	舟木 大地 (ふなき だいち)

よろしく申し上げます



～退職医師のお知らせ～

整形外科	高橋 健志郎	脳神経外科	伊藤 清佳
整形外科	山田 智輝	産婦人科	左古 寛知
外科	東口 貴之	泌尿器科	前田 航規
外科	全 有美	消化器内科	廣江 光亮
小児科	底田 辰之	循環器内科	富岡 大資
小児科	山岸 礼門	神経内科	岡田 直
小児科	安齋 祐子	内科	高島 範之
小児科	大島 理利	歯科口腔外科	坂本 雄紀

お世話になりました

